

新宮山彦ぐるーぷ第2098回

持経・平治宿の巡回整備

◇実施日：2020年10月4日（日）晴

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、児嶋道夫、山川治雄、乾克己、梶野照雄

6名

9月26日、27日に行仙宿小屋の雨戸工事が無事終了した。翌週は行事予定を組まず一服と決めていたが、そうはさせてくれない。児嶋さんから「10月2日に乾さんが来て3日に大塔山登山、4日に持経宿のソーラーパネル移設と平治宿のストーブ交換を行うので、人集めの段取りをして欲しい」と連絡があった。



荒れた路面を補修



平治宿に向かう



トイレドアを削る

池郷林道は先日梶野君が見てきたように、9月下旬に崩落があり通行できない状態なので、白谷林道の状態はどうかと気になって、森林管理事務所の下北山村駐在員（川村さん）に電話してみた。なんとか走行できます。との返事で段取りにかかり、6人の皆さんの参加となった。

当日朝8時半、役場駐車場に6人が集合し沖崎車に4人、山川車に2人が乗って出発。R425、白谷トンネルを経て9時過ぎに林道ゲートに着いた。



閉じるようになった

ストーブ交換

5月の連休以来の白谷林道だ。山川さんは初めての通過となる。55分程で持経宿に着いたが、途中2ヶ所で路面が荒れている所があった。1km位で以前鉄板を敷いていた所は何とか通過。平治谷を過ぎて、2kmの表示があるところが酷く、水流で深い溝ができ車の腹が当たってしまう。全員降車してジョレン、トンガを手を整備した。この深い溝はおよそ30m続いているので、白谷林道を走行す

るときはジョレンやトンガが必須になる。車中で乾さんの話によると、大塔山の登山口（弘法杉から）迄行つたが、登山口の登りだし位置が不明で登れなかった、とのことである。



水場径改修ルートにロープでマーキング

天板に防腐剤

持経宿のソーラーパネル移設は平治宿の作業終了後として、持経宿にデポしていたストーブ（松本板金さん製作、ステンレス製）を児嶋さんが背負子に、他それぞれが鉄パイプなどを持って、10時5分平治宿に向け出発した。

荷物が重くなるとペースが遅いし休憩も多くなる。1時間10分かかってようやく平治宿に着いた。休憩する間もなくすぐに作業開始。児嶋さんはストーブの取替、梶野君はトイレドアを削って閉まるように、山川、濱野の2名が改修水場径のルート選定とロープでマーキング、沖崎は小屋内と倉庫の在庫確認・整理、乾さんは新設のテーブルと庇に防腐剤を塗布、と各自分担して複数の作業が同時進行。

昼食を挟んで残った作業を片付け、1時半少し前に平治宿を後にした。平治宿で作業中に単独の逆峯者が2名通過、それぞれ本宮を目指し、今夜は行仙宿に宿泊するとのことだった。



庇にも防腐剤

腐って折れていた斜木を切除

持経宿に戻る途中で以前から頭上に斜めに倒れこんでいた大木を一本切除した。

持経宿で、児嶋、乾、山川、梶野の4名が屋根に上り、ソーラーパネルの移設を行った。沖崎、濱野の2名で小屋内の点検・整理と薪材の移動などを行い、予定した作業を全て終了した。山川さんは3時過ぎに先行下山された。

今後は平治宿の水場径改修がメイン作業となる。一日ではとても完工できないので、何回かに分けて作業しなければならない。皆さんのご協力をお願いした。

役場に着いたのは夕方、5時少し前だった。新宮に帰宅したのは6時過ぎ、白谷林道経由はやはり時間がかかる。



持経宿のソーラーパネル移設



本日の参加者



行動タイム

08：30 役場駐車場→09：50 持経宿→11：10 平治宿 13：25→14：25
持経宿 15：40→16：55 役場駐車場

(記：沖崎、写真：梶野)